

長崎県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

- 長崎県の公立高校入試は特別選抜・一般選抜があります。

	出願期間	検査日	合格発表
特別選抜	1/13(火)～19(月)	1/27(火)	1/30(金)
一般選抜	2/2(月)～6(金)	2/17(火)・18(水)	3/5(木)

- 出願は、原則1校（1学科1コース）に限ります。ただし、特別選抜自己推薦①、一般選抜においては学校により第3志望まで希望できます。

出願先の変更はできません。

（くくり募集を行う高等学校の関連学科への志願は、1学科志願とみなします。）

普通科の通学区域は、特別選抜自己推薦②と一般選抜において適用され、県南・県央・島原・県北・五島・壱岐・対馬の7学区です。

普通科以外の学科と長崎市立長崎商業に関しては、県全域が対象となります。

また、全日制の課程における普通科のうち、一部県全域から志願できるコースもあります。

特別選抜①

- 特別選抜には、主に自己推薦①、自己推薦②の2種類の選抜があり、全学科で、自己推薦②または両方が実施されます。

特別選抜の募集人員は全募集定員の15%以内(1学年2学級以下の学校は15名まで)の範囲で各学校が学科別に定めますが、自己推薦①については、特別選抜による定員の3分の2を超えない範囲で設定されます。

同学科・コースで自己推薦①と自己推薦②を両方実施する場合、自己推薦①の志願状況等により自己推薦②の募集定員が変動します。

ただし、自己推薦①と自己推薦②を同時に志願することは出来ません。

[自己推薦①]

通学区域は県全域。県外からの出願は不可。

文化・スポーツを含む主体的な活動で顕著な実績を持つと自ら認める者で、かつ受検を希望する高等学校に進学する強い意志を持ち、学校の求める生徒像に合致する者が対象。

[自己推薦②]

在住する通学区域に出願が可能。

文化・スポーツを含む主体的な活動で顕著な実績を持つと自ら認める者で、かつ受検を希望する高等学校に進学する強い意志を持つ者が対象。

学科・コース別に「特別選抜において特に求める生徒像」を提示しているので、確認しましょう。

特別選抜②

●選抜内容 選抜内容は自己推薦①と自己推薦②で共通

①調査書

- ・調査書は12月末時点で作成されます。
- ・中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）の評定が記載されます。
- ・また、各教科の記録については、評定のみならず学びの過程を重視する観点から、観点別学習状況の「主体的に学習に取り組む態度」をほかの項目より比重を高めて評価する。

②面接またはプレゼンテーション

学校が選択して実施する。どちらも英語を含む場合がある。また、プレゼンテーションには質疑応答を含む場合がある。

調査書その他必要な書類、実施した検査の結果を活用し、各学校が検査項目の比重を定めて選抜を行い、合格者を決定します。

[離島留学特別選抜]

離島留学特別選抜は、調査書その他必要な書類、各学校ごとに実施する検査の結果を活用し、各学校が検査項目の比重を定めて選抜を行い、合格者を決定します。出願の際、入学願書の他に志望理由書、離島留学誓約書などを提出します。

[離島留学特別選抜実施校]

- ・宇久高等学校普通科(Ukuサイエンスパーク)
- ・対馬高等学校国際文化交流科
- ・壱岐高等学校東アジア歴史・中国語コース
- ・五島高等学校スポーツコース
- ・五島南高等学校夢トライコース
- ・奈留高等学校普通科(E-アイランド・スクール)

●特別選抜に志願し、合格内定とならなかった受検者は、各課程の選抜の手続きにより、改めて希望する高等学校に出願することができます。

一般選抜

●募集定員は全募集定員から特別選抜の合格者を減じた人数となります。

●選抜資料

①学力検査…国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各100点）

- ・学科等の特色に応じて、特定の科目に傾斜配点を用いることがある（1.5倍～2.0倍）

②面接…対面による面接または紙上による面接を全員に実施する。

③調査書…教科の評定に偏ることなく取り扱う

- ・観点別学習状況、その他の記載事項についても十分尊重する
- ・評定は、中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が記載される

●以上の資料等を活用し、総合的に判定して、合格者を決定します。

その際、それぞれの資料の比重は各学校により定めるものとします。

チャレンジ選抜

●丁寧できめ細やかな指導を行っている学校で夢や目標を実現したいという意欲に応える新しい選抜です。通学区域は県全域です。

●主に離島・半島の少人数校で実施します。一般選抜の結果、定員が充足している学校は実施しません。一般選抜で受検した学校には志願できません。